

都市再生整備計画

あいらちゅうしんきよてん
始良中心拠点地区

かごしま あいらし
鹿児島県 始良市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	鹿児島県	市町村名	あいら 始良市	地区名	あいらちゅうしんきよてん 始良中心拠点地区	面積	90.0 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度				

目標

本地区は、立地適正化計画の都市機能誘導区域と位置付けている地区であり、コンパクトかつ利便性の高いまちづくり及び安全で安心なまちづくりを推進する
 大目標：多世代が交流する安全快適空間、始良市の発展をリードするまちづくり
 目標1：歩行空間・交流空間を活用し安全で安心な人流を促進し、にぎわい・交流の創出と情報発信を図る。
 目標2：交通結節機能と防災機能を兼ね備えた総合的な都市防災対策を行い、防災減災の意識向上を図る。
 目標3：地域交通ネットワークを維持し、市民や来街者のいづれに対しても安全性・利便性・快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針（都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針）

- ・本地区は始良市の中心部に位置し、市の中心的な駅であるJR日豊本線の帖佐駅があり、九州縦貫自動車道や国道10号、都市計画道路帖佐駅三拾町線などの自動車交通網が集中する公共交通結節点のハブ的役割を担う地区である。本地区内の主要な施設としては、誘導施設でもある現在建替え中の始良市役所本庁舎や中央図書館、始良公民館、歴史民俗資料館などの行政施設や社会福祉協議会、商工会が集積しており、また大規模集客施設や商業店舗、金融機関や医療施設等もまとまって立地していることから、立地適正化計画では高齢者をはじめとする市民が公共交通や徒歩でアクセスできる都市機能誘導地区の都市中心拠点として位置付けていることから、さらなる都市機能の集約・拠点化を図り、コンパクトなまちづくりの推進を図る。
- ・本地区の帖佐駅前広場及び都市計画道路帖佐駅三拾町線の街路事業や、始良市役所本庁舎とその周辺道路の整備に併せて、歩行空間・交流空間や防災機能を整備し、中心市街地の賑わいや交流の創出と地域の安全で安心な活性化を図る。
- ・都市計画マスタープランでの本地区の将来像は「県央の地の利を活かした広域交流拠点として、賑わいとふれあいがあるまち」としているものの、駅前通りである都市計画道路帖佐駅三拾町線沿いなど空き店舗が増え、地区全体において賑わいの低下がみられる。こうしたことから、新たな中心拠点施設の整備を検討するなど、都市再編によりワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図る環境整備や公的不動産の有効活用、駅前通りの活性化等の複合的な効果向上に努める。
- ・始良市役所や帖佐駅を含む都市機能誘導区域は、それぞれの施設が半径800mの区域内に点在しており、快適で居心地が良く歩きたくする拠点としての役割を果たすことができる。よって、歩道の連続性確保が可能な本地区を健康増進環境や市民交流の環境として整備する。

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は始良市の中心部に位置し、行政施設や交通結節点が集積しており、公共交通を利用して容易にアクセスが可能な都市中心拠点地区である。市町村合併から10年以上が経過する中、令和6年度には始良市の中枢となる行政機能や防災機能が集約された始良市役所本庁舎が完成し、市民サービスの拠点や防災安全の拠点、交流の拠点として活用されることが期待されている。
- ・始良市役所本庁舎及びその周辺道路の整備のほか、現在街路事業として駅前広場（事業主体：始良市）と都市計画道路帖佐駅三拾町線（事業主体：鹿児島県）の整備事業を行っていることから、当該計画によりまちづくりを一体的に進めることで効果的な都市機能の再編を図りたい。
- ・本地区は、大規模集客施設や商業施設など誘導施設が多数集積していることから、民間調査による「住みここのよい自治体」ランキング県内第1位であり人口増加が進む始良市をけん引する地区である。宅地造成のほか高層マンションやアパートなど集合住宅の建設も増加傾向にあり、都市中心拠点として土地利用が進む地区として期待されている。
- ・その他、令和6～7年度に始良市立地適正化計画（平成31年3月策定）の見直し等を行い、防災指針（令和2年法改正）を策定予定である。

課題

- 1)本地区は、歩道の連続性・周遊性がなく、また高齢化に対応したバリアフリー対策等が不足し、安全で快適な歩行エリアが確保されていない。
- 2)本地区は、コンパクトなまちづくりとこれと連携した公共交通のネットワークの形成や防災対策が不足しており、安全で安心な一体的な都市空間が確保されていない。
- 3)本地区は、公有地や公共施設等を活用した地域コミュニティスペースや訪問者が交流する空間が不足しており、駅前広場や駅前通り等に活気がない。よって、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図る必要がある。

【参考：課題抽出】

- ・本地区は、人口減少と少子高齢化の進展を背景として、高齢者や子育て世代が安心して快適に生活できる環境の創出や安全に歩行できる空間整備が期待されている。また、財政面及び経済面において、持続可能でコンパクトな都市構造を創設していくことが必要不可欠である。
- ・本地区は、始良市誕生後、大規模集客施設や行政施設等が集約されるようになった地区ではあるが、昔ながらの小規模な商店の撤退により駅前通りは閑散とし、日常的なイベント等もないことから、駅前通りの再生と居住空間の向上が求められている。また、駅から駅前広場、都市計画道路帖佐駅三拾町線へと続く歩行空間が連続しておらず、帖佐駅から都市中心拠点への人の流れを生み出すための拠点として機能が不足している。
- ・帖佐駅を発着する路線バスは1日約90本運行しているものの、明確なバスの乗降場やバス待合場、屋根（シェルター）がないことから、バス利用者は駅舎内の休憩所で待機しており、雨天時の乗降等が不便となっている。
- ・駅送迎のための停車スペースが少なく、朝夕の通勤通学ラッシュ時や雨天時など駐車需要集中時における駅前広場内への一時停車による車両動線の交錯、歩行者動線への支障が見られるとともに、歩道と車道の区分がないため、歩行者と自転車、自動車の動線が混在しており安全性が低い状態である。
- ・現在、駅前広場中央部に植樹、モニュメント、掲示板などの交通島が配置されているが、空間も狭く歩行空間や滞在空間がないことから、人の滞留や交流、まちの景観、防災等の機能を配置するためのオープンスペースとしては不足している。
- ・本市の中心的な駅である帖佐駅は市の玄関口であるが、観光情報発信の拠点として機能が乏しい状態である。また、災害時の防災対策の施設整備が不足しており、防災機能の向上が必要であるほか、交通結節点や避難所などの主要な施設においては、防災情報など災害時の情報発信が不足している。
- ・本市の都市中心拠点として、賑わいと『あいら』らしい空間の創出のほか、駅周辺の一體的なまちづくりに向け、行政施設や大規模集客施設までの安全性や利便性、周遊性の向上が必要である。
- ・現在、駅前通りにある観光案内所は、小規模な実店舗により市観光協会が運営しているが、当該店舗は街路事業である都市計画道路帖佐駅三拾町線の道路拡幅や歩道整備に伴い解体撤去となる。市観光協会からは、市の玄関口である帖佐駅周辺への観光交流拠点の整備の要望があげられている。
- ・駅前広場内や都市計画道路帖佐駅三拾町線の歩行空間、指定避難所である中央図書館の駐車場などは照明施設が少なく、夜間の視認性や防犯性、防災時の安全性や誘導性に欠けている。
- ・市の都市中心拠点としての防災対策をはじめ、都市機能誘導区域内で宅地化が進み、道路冠水等の被害が頻発していることから市街地の排水対策が課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

■都市計画区域の整備開発及び保全の方針

本地区は、都市中心拠点として位置づけられており、まちの発展を牽引し、広域交流拠点としても対外的にアピールできる優れた市街地の形成を図るため、周囲の緑あふれる自然環境との調和に考慮しながら、生活支援機能・公共公益機能及び商業機能の強化、道路歩道等の基盤施設、景観整備を進め、交通結節点としての機能の強化を図るため、鉄道や高速道路等の連携を強化し、周辺を含めた道路等の整備を進めるものとされている。

■都市計画マスタープラン

本地区の帖佐駅周辺に関しては、広域交通の結節点である駅の利便性向上や周辺における商業機能・歩行空間の整備等を推進・強化していくものとされている。また、交通結節点の機能の強化に関しては、公共交通の整備のなかで、未整備の駅前広場の整備や、整備にあたっては始良市の歴史が感じられる工夫に努めると示されている。

地区別構想では、帖佐駅に関する整備方針として、鉄道とバス、自家用車、自転車等との乗り換えがスムーズで良好な景観を持つ駅前広場の整備を推進すること等が示されている。

■第2次総合計画

本地区は、重点プロジェクトの一つである「駅を中心としたまちづくりの推進」において、市の玄関口である帖佐駅前に市民や観光客が集うことができる交流広場の整備を図るとともに、主要施設までのアクセス重点的・優先的に推進していくものとされている。

■地域公共交通網形成計画

基本方針では、市役所もしくは大型商業施設をターミナル拠点と捉え、鉄道、高速バス、幹線バスの利用による市外への移動とともに、市内各拠点への玄関口として機能するようバス路線の見直しを行うものとしている。

■第2次始良市観光おもてなし計画

観光メニュー・プログラムづくりにおいて、市内での滞在性や周遊性を向上させるために観光情報発信拠点の整備を進め、併せて、情報発信手法の多様化とメディアの活用として、市内の主要施設(JR各駅、SIO等)における観光案内・PRの強化を進めるものとされている。

■立地適正化計画

・当該地区は、都市中心拠点地区(始良市役所・帖佐駅周辺)の都市機能誘導区域として、公共交通によるアクセス性に優れ、多様な都市機能が集積する地区を“目指す地区のイメージ”に掲げている。

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・本地区は立地適正化計画で都市機能誘導区域である。始良市役所や大規模集客施設、帖佐駅周辺は、これまで地域の商業・行政・文化・教育の中心的な役割を有しており、今後さらに子育て支援機能・情報発信機能の複合化や誘導施設の移転誘導に努める。
- ・本地区の帖佐駅前広場は、高質化と併せて歩行空間・交流空間を整備することにより、交通結節点としての機能強化や安全・安心な都市機能を付与し、にぎわいのあるまちづくりの向上に努める。
- ・本地区の市道役場前通線等は、駅前通りとなる都市計画道路帖佐駅三拾町線と行政施設の中核である始良市役所本庁舎とを結ぶ動線であり、歩道等を整備することにより周遊性の向上や避難経路の確保等に努める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
J R帖佐駅の乗者数	人/日	駅前広場の機能向上	都市再生の総合整備により、快適で利便性の高い都市空間を創出する。	1,369	R3	1,650	R10
道路・公共交通などの環境が充実していると感じている市民の割合	%	安全で安心な歩行空間と交流空間の形成	都市再生の総合整備により、安全で安心な歩行空間・交流空間を創出する。	54.2	R3	62.3	R10

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■都市再生の総合整備により、快適で利便性の高い都市空間を創出する。 【安全で安心な憩いの場として、帖佐駅前広場等を整備し、コンパクトな都市機能と防災機能を推進する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の利便性の向上と交通結節点としての機能強化や利用促進のため、通路シェルターや自転車駐車を整備する。 ・駅前広場等に観光やイベント、地域活動や防災情報発信のため情報板等を整備する。 ・都市公園に防災かまどベンチを整備することにより、防災機能と併せて市民の防災意識の向上を図る。 ・駅利用者的高質な空間形成や快適性向上のため、緑地、広場や時計塔、モニュメント等を整備する。 ・交通結節点として利便性の向上を図るため、交通機関案内板を整備する。 	<p>【基幹事業】（地域生活基盤施設）自転車駐車場の整備／駅前広場 【基幹事業】（地域生活基盤施設）情報板、総合案内サイン、交通機関案内板の整備／駅前広場等 【基幹事業】（地域生活基盤施設）防災かまどベンチの整備／都市公園 【基幹事業】（高質空間形成施設）モニュメント等の整備／駅前広場 【基幹事業】（高質空間形成施設）時計塔の整備／駅前広場 【基幹事業】（高質空間形成施設）通路シェルターの整備／駅前広場 【提案事業】（事業活用調査）帖佐駅周辺デザイン形成事業／駅前広場等 【関連事業】帖佐駅前広場 街路事業 【関連事業】JR帖佐駅バリアフリー化事業</p>
<p>■都市再生の総合整備により、安全で安心な歩行空間・交流空間を創出する。 【都市計画道路等の整備に併せ、公共施設の集約・機能向上を図り、賑わいと世代間を越えた交流の促進と市民サービスの向上を図る。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政施設等の周辺道路について、アクセス道路の修繕や歩道整備を行い、安全で安心な歩行空間と周遊性の向上を図る。 ・駅前広場等に観光やイベント、地域活動や防災情報発信のため情報板等を整備する。〔再掲〕 ・駅前広場や都市計画道路帖佐駅三拾町線等へ歩行空間・安全空間の向上のため、横断防止柵や照明施設を整備する。 	<p>【基幹事業】（道路）市道役場前通線の整備 【基幹事業】（道路）市道官原・森線の整備 【基幹事業】（地域生活基盤施設）情報板、総合案内サイン、交通機関案内板の整備／駅前広場等〔再掲〕 【基幹事業】（高質空間形成施設）照明施設の整備／駅前広場等 【基幹事業】（高質空間形成施設）横断防止柵の整備／駅前広場 【提案事業】（事業活用調査）帖佐駅周辺デザイン形成事業／駅前広場等〔再掲〕 【関連事業】始良市役所本庁舎建替事業 【関連事業】帖佐駅前広場 街路事業〔再掲〕 【関連事業】JR帖佐駅バリアフリー化事業〔再掲〕 【関連事業】始良市役所本庁舎周辺道路整備事業 【関連事業】都市計画道路帖佐駅三拾町線 街路事業（歩道拡幅、無電柱化）／県事業</p>
<p>【コミュニティを中心に人が集い、多世代がふれあう快適な生活空間の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のにぎわいと世代間を越えた交流の促進、衰退しつつある駅前通り等の地域の活性化を図る。 ・駅前通りである都市計画道路帖佐駅三拾町線沿いなど既存施設や低未利用土地の利活用や活性化を図り、まちの低密度（スポンジ化）を防ぐ。 	<p>【提案事業】（まちづくり活動推進事業）帖佐駅周辺地域活性化事業 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析調査</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市が策定する都市計画マスタープランや立地適正化計画など各種計画は、策定委員会等において市民参加やパブリックコメントを行い、多くの市民意見を集約するように努めている。 ・帖佐駅前広場（西口）は、令和元年6月から約2年間に渡り自治会代表者や商工会や身体障がい者協会などの関係団体をはじめ公共交通事業者や学識経験者により構成された「帖佐駅前広場基本計画策定検討委員会」を発足し、ワークショップ等により市民意見を取り入れた計画を作成している。 ・本地区の始良市役所本庁舎の建替については、市民参加の検討委員会やパブリックコメント・住民ワークショップを行い、市民意見を取り入れた計画としている。 ・令和元年度において、授業の一環として鹿児島工業高等専門学校都市環境デザイン学科5年生など44名により、JR九州帖佐駅前再開発計画案として研究発表が行われた。 ・令和4年度において、総務や農政、消防など各部署から集まった本市若手職員25人で構成するプロジェクトチームにより、本市の顔となる帖佐駅前の再開発に向け構想を練り上げた。 ・地元県立高校生において、通学でお世話になっている帖佐駅や地域の方々に対し感謝の気持ちを伝えるため、帖佐駅前広場の美化活動や、鹿児島観光に来られた「クルーズトレインななつ星in九州」の乗客へおもてなしとして被服実習で製作した記念品を贈り、鹿児島島の魅力をPRした。 ・令和5年2月に、障がい者が住みやすい街を目指して、始良市視覚障害者協会がJR帖佐駅周辺の道路点検を実施した際、市職員等も多数参加し、アイマスク等を着用し疑似体験をしながら、視覚障がい者にとって危険な道路の障害物や点字ブロックの状態等をチェックした。現地調査後は、参加者による意見交換会などにより帖佐駅前広場の整備等に向け情報収集等に取り組んだ。 	

